



碓東小通信 培根



宍中市立碓東小学校

令和6年10月1日

NO.10

文責：ホロ

心が温かくなるいい運動会でした！

「気持ち良いあいさつ 心からのありがとう」というスローガンを掲げ、素晴らしい運動会を開催できたこと、子供たちと保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

練習期間は猛暑、前日は「明日はいったい曇り？雨？」と、モチベーションが下がりそうな環境の中での実施でしたが、期待以上のパフォーマンスを見せた子供たちに、その心と体の成長を感じました。

運動会は昔から足の速い人が花形選手に感じられがちですが、この行事の中ではその練習期間も含め実に様々な才能が見て取れました。

身体能力、表現力、コミュニケーション能力、忍耐力、貢献意識、リーダーシップ、寛容性、思いやりの心、話し合う力、思考力、勤労意欲、規範意識、礼儀正しさ、感受性、計画性、声量……。だからこそ、誰もが自分の良さを精一杯発揮できていたかどうかで自分を振り返ってほしいのです。保護者の皆様もぜひお子様がどんな場面でどう頑張っていたのか、一緒に振り返り、その子の良さを認めてあげてほしいと思います。

先日、USJの経営をV字回復させたことで有名な森岡毅さんの本を読んだ中で、著者が日本の課題として次のようなことを挙げていました。

一小学校へ入学してから大学を出るまで16年間もあるのに、自分が何者でどんな特徴があって、どんなときに幸せを感じるから、どんな職に就いて、どのような人生を送りたいか、そういうことをほとんど考えさせない

学校の教員として、とても重い責任を感じました。そういえば自分自身も担任として教え子たちが将来につなげて自分を見つめるような支援を十分にできていたか、自信がありません。教育のプロとして恥ずかしい限りです。

だから、今回の運動会は子供たちの様子をよく見ることを心がけました。演技や競技の中での活躍はもちろんですが、会場を盛り上げようと応援やメッセージに全力を尽くしていた子もいました。最後の片付けの時に、何度も何度も用具を運んでいた子もいました。私はそういう頑張りもその子の才能として認めたいと思いました。今回の運動会を通して、子供たち一人一人もその子自身の「自分は何者なのか」にヒントを得たのであれば幸いです。

保護者の皆様には率先して片付けに協力する姿を子供たちに見せていただきありがとうございました。子供は親の背中を見て育ちます。子供たちにとってこれもよい学びの場でありました。



運動会団対抗結果

優勝	準優勝	
赤城団（463点）	妙義団（424点）	榛名団（424点）

